第14回　筋萎縮性側索硬化症　重症筋無力症　脊髄小脳変性症

1．正しいのはどれか。２つ選べ。 　  
　　　 a　自閉症----情緒障害  
　　　 b　脳性麻痺----進行性病変  
　　　 c　重症筋無力症----神経筋接合部の障害  
　　　 d　甲状腺機能亢進症----先天性疾患  
　　　 e　進行性筋ジストロフィー----筋の変性

2．運動ニューロンの変性・消失によるものはどれか。１つ選べ。  
　　　 a　多発性硬化症  
　　　 b　関節リウマチ  
　　　 c　重症筋無力症  
　　　 d　Parkinson病  
　　　 e　筋萎縮性側索硬化症

3．呼吸障害と嚥下障害が並行してみられるのはどれか。１つ選べ。  
　　　 a　Parkinson病  
　　　 b　重症筋無力症  
　　　 c　Ｌｅｗｙ小体型認知症  
　　　 d　Ａｌｚｈｅｉｍｅｒ型認知症  
　　　 e　筋萎縮性側索硬化症

4．舌の萎縮がみられるのはどれか。２つ選べ。  
　　　 a　脳出血  
　　　 b　関節リウマチ  
　　　 c　重症筋無力症  
　　　 d　Parkinson病  
　　　 e　筋萎縮性側索硬化症

5．舌の萎縮によって起こりうるのはどれか。２つ選べ。  
　　　 a　咀嚼障害  
　　　 b　捕食障害  
　　　 c　送り込み障害  
　　　 d　軟口蓋の挙上不全  
　　　 e　食道入口部開大不全  
  
6．75歳男性。運動神経の変性・消失により加療中である。上半身の写真を別に示す。   
 口腔ケア時に注意すべき事項はどれか。1つ選べ。  
　　　 　a　呼吸抑制  
　　　 　b　局所感染  
　　　 　c　血圧低下  
　　　 　d　誤嚥性肺炎  
　　　 　e　感染性心内膜炎

7．神経筋接合部の伝達障害によるものはどれか。１つ選べ。  
　　　 a　多発性硬化症  
　　　 b　関節リウマチ  
　　　 c　重症筋無力症  
　　　 d　Parkinson病  
　　　 e　筋萎縮性側索硬化症

8．60歳の男性。歯肉出血を主訴として来院した。半年前より両目の違和感を覚え、食事の際にむせが出るようになった という。患者の目の写真を別に示す。診査の結果、歯石除去を行うこととした。 疑われる患者の疾患はどれか。１つ選べ。  
　　　 a　脳梗塞  
　　　 b　脳性麻痺  
　　　 c　統合失調症  
　　　 d　Parkinson病  
　　　 e　重症筋無力症

9．パーキンソニズムがみられるのは、どれか。2つ選べ。  
　　　 a　脊髄小脳変性症  
　　　 b　関節リウマチ  
　　　 c　重症筋無力症  
　　　 d　シャイドレーガー症候群  
　　　 e　筋萎縮性側索硬化症

10．小脳、脳幹、脊髄が障害を受けるのはどれか。2つ選べ。

* + 1. 線条体黒質変性症
    2. 関節リウマチ
    3. 重症筋無力症
    4. シャイドレーガー症候群
    5. 筋萎縮性側索硬化症

11．重症筋無力症の患者における歯科治療上の問題点はどれか。2つ選べ。  
　　　 a　易感染性  
　　　 b　異常高血圧  
　　　 c　不随意運動   
　　　 d　易ショック姓  
　　　 e　感染性心内膜炎

12．多系統萎縮症はどれか。3つ選べ。

1. 重症筋無力症
2. 線条体黒質変性症
3. オリーブ橋小脳萎縮症
4. 遺伝性脊髄小脳変性症
5. シャイドレーガー症候群

13．パーキンソンニズムがみられるのはどれか。3つ選べ。  
　　　 a　重症筋無力症  
　　　 b　Friedreich失調症  
　　　 c　線条体黒質変性症  
　　　 d　オリーブ橋小脳萎縮症  
　　　 e　シャイドレーガー症候群

14．診療後に診療台をゆっくり起こすことに配慮するのはどれか。1つ選べ。  
　　　 a　重症筋無力症  
　　　 b　Friedreich失調症  
　　　 c　線条体黒質変性症  
　　　 d　オリーブ橋小脳萎縮症  
　　　 e　シャイドレーガー症候群

15．初発症状が何もないところでつまずいたり、酩酊様歩行はどれか。1つ選べ。  
　　　 a　重症筋無力症  
　　　 b　Friedreich失調症  
　　　 c　線条体黒質変性症  
　　　 d　オリーブ橋小脳萎縮症  
　　　 e　シャイドレーガー症候群

16．初発症状が無動、固縮、小刻み歩行はどれか。1つ選べ。  
　　　 a　重症筋無力症  
　　　 b　Friedreich失調症  
　　　 c　線条体黒質変性症  
　　　 d　オリーブ橋小脳萎縮症  
　　　 e　シャイドレーガー症候群

17．自律神経症状が特徴的症状はどれか。1つ選べ。  
　　　 a　重症筋無力症  
　　　 b　Friedreich失調症  
　　　 c　線条体黒質変性症  
　　　 d　オリーブ橋小脳萎縮症  
　　　 e　シャイドレーガー症候群